

フレッシュアップ コミュニケーション

東京学芸大学附属竹早中学校同窓会

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-2-1 東京学芸大学附属竹早中学校内
同窓会会長 古谷顯史郎

'22.8

創立75周年を迎えて 会員の皆様へ



同窓会会長 古谷 顯史郎

会員の皆様には、平素より同窓会の活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。また、本年度は、母校竹早中学校が創立75周年を迎えました。会員の皆様と共に母校の発展のためにご尽力頂きました諸先輩、先生、保護者の皆様にご感謝申し上げます。

母校の歴史を顧みますと、昭和22年に府立東京第一師範学校女子部附属中学校と第二師範学校女子部附属中学校が竹早、本郷追分地区に創立。それぞれの学校は、昭和26年に東京学芸大学の付属竹早中学校、追分中学校となり、昭和29年に両校が統合されて東京学芸大学附属中学校となり、昭和35年に附属竹早中学校と改称され現在に至っております。その後も、東京都からの校舎返還問題、竹早高校との校舎共有問題等、様々な問題を抱えておりましたが、昭和45年に竹早高校との問題が解決し、やっと母校は、独立した校舎を持つて落ち着いた教育環境を獲得しました。その間、歴代の校長先生をはじめ学校関係者の皆様の大変なご苦労が実を結び現在が有る事を忘れないようにして行きたいと思っております。

周年行事につきましては、昭和47年に創立25周年記念式典を挙行し、30年、40年、50年、60年、70年と挙行され今年度の75周年記念に繋がっております。

同窓会として周年行事の取り組みは、30周年の記念に同窓会が主体となって記念誌を発行しようとの機運が同窓生の間で高まり、旧竹早、追分の同窓生を纏め新竹早中学の同窓会を新たに組織し、初めての記念誌を発行。この間の取り纏めは、昭和32年から平成3年まで会長をされた大場元会長のお話では会を纏める事

が大変難しかったが、記念誌の発行で同窓生の協力を得られ同窓会の礎が出来た様だと伺っております。

今回の75周年記念事業は、平成30年から令和4年まで5年計画で体育館床改修、音響設備改善を進めております。その原資は、創竹会が窓口となり特別寄付(控除対象)制度を設け、寄付募集を行いました。皆様のご協力とご支援により昨年度末に予算達成の目途が付きましました。改修工事は、体育館のカーテン、音響改善工事を行いました。一部改善出来ていない所があり今年の夏休みに吸音板の設置をおこないます。体育館の床材は、昨年の夏休みに完工しております。使用している生徒諸君からは、スリッパしない、クッション性が良く足首や、膝の負担が少ないと好評の様です。

記念式典は、来年3月14日に予定しておりますが、同窓会総務部、事業部が窓口となり学校、PTA、創竹会と連携し実施出来る様協力してまいります。

結びになりますが、今年度末に卒業生総数13,132名となる母校の同窓会として今後とも、名簿の管理及び同窓生の親睦と母校の竹早らしい発展を出来る限り協力、支援、応援をして参ります。会員の皆様には、一層のご協力とご鞭撻をお願い申し上げます。

令和四年度 同窓会総会のお知らせ

総会担当幹事 第44期(平成四年度卒業)

- 日 時/令和四年10月29日(土)
【受付開始】14時00分より
【総 会】14時30分~15時00分
【講演会】15時00分~

- 会 場: 竹早中学校体育館
新型コロナウイルスの感染状況により会場について変更になる場合もございます。10月以降に同窓会ホームページをご確認ください。もしくは総会担当幹事までご照会お願いいたします。

竹早中 同窓会 🔍 検索

【総会担当幹事】

44期 菅谷哲史(090-2758-9943)
佐野雅春(090-2630-1309)

- 会 費: 無料
今年度は会費を無料といたしますので、奮ってご参加ください。

*本年度も感染対策から飲食を伴う懇親会は開催いたしません。現時点では講演会を予定しておりますが、感染状況によっては、変更・中止もございます。10月以降に同窓会ホームページをご確認ください。

ご出欠ハガキの返信期限 10月15日

創立75周年にあたって

学校長 藤本光一郎



同窓会の皆様には、日頃より本校へのご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

いよいよ創立75周年の年となりました。皆様のご支援による記念事業として実施している体育館改修が、昨年の床改修に引き続き、この夏の音響改善工事をもって完了予定です。お披露目もかねて2023年3月には記念式典を実施する予定です。式典の内容などは検討中です。コロナ禍で残念ながら多くの皆様に学校にお越しいただくことは難しいのですが、改めてご報告させていただきたいと思えます。

次に、学校の状況を簡単に報告させていただきます。今年度は日帰りですが3年ぶりに校外学習を実施いたしました。部活動なども含めて生徒たちの活動は少しずつコロナ前の状態に戻りつつあります。学年別開催など規模を縮小して実施してきた運動会や文化研究発表会なども、できるだけ従来に近い形で実施すべく工夫を重ねているところです。

また、本校の学校研究として行ってきた多様性の研究をまとめた書籍が2022年3月に出版されました^(注1)。

全教員が関わっております。今の竹早中で行われている授業がリアルに描かれておりますので、興味ある方はぜひ手にとっていただければと思います。

さらに、大学や企業にも参加いただき、幼小中連携で実施している「未来の学校 みんなで創ろう。プロジェクト」は第一期の3年目を迎えました。いろいろなことを行っているのですが、この3月には高速通信環境のSUGOI部屋が整備され、様々な授業や活動に使われております。プロジェクトの現状について、大学のサイトに未来の学校のコーナー^(注2)があります。ぜひご覧ください。

会員の皆様のご活躍とご多幸をお祈りするとともに、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

注1 「竹早」×「多様性」でえがく未来の多様性を理解する、活かす教育実践

東洋館出版社 2022年出版

注2 <https://edumotto.u-gakugei.ac.jp/mirainogakou/>

唇に校歌を、心に泰山木を

副校長 森 顕子



まず、日頃より竹中の子どもの達の教育への大きなご支援をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。私が、同窓であるということの思いをあらためて感じる一つの場面は、同じ校歌を様々な年代の卒業生の皆様と歌う時です。

竹早中学校の校歌は、華やかなピアノの前奏から始まり、「竹早台の朝ほらけ」の歌い出しから子どもたちは顔を上げて元気に声を合わせていきます。子どもたちは口々に母校の校歌が好きと言い、高揚して歌える校歌であることは、子どもたちはもとより、学校にとっても幸せなことだと思っております。

新入生は入学式で先輩たちの伸びやかな歌声に魅了され、音楽の授業でも一生懸命練習します。そして、行事や式典で思いを込めて歌います。運動会では、勝つても負けても縦割りそれぞれの役割を精一杯果たした結果に、声を絞ります。文化研究発表会では合唱コンクールの決戦前に、声出しを兼ねるところもあって、最も美しい校歌の合唱となります。そして卒業式。3年生は学校生活のすべてを歌に乗せ、証書授与の前のプログラムでありながら、幾人かはすでに感極まり号

泣する姿が男女を問わず見られます。在校生は先輩との日々を思い、感謝の思いと先輩のよき旅立ちを願いながら歌います。子ども達一人一人の竹中生としての学校生活は、折々の歌う機会に声を合わせる歌に込められ、卒業式に結実するのだと思います。しかし今、コロナ禍のもとで、校歌を思い切り歌うことができない状況であることは、深く憂えているところです。

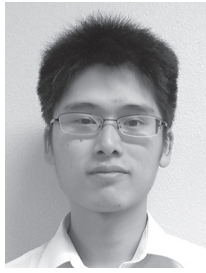
また、この校歌の歌詞3番冒頭に「泰山木の香も高く真白き花よ我が憧れ」とあります。そして「美はしく」あれ、と歌詞は続きます。何を美はしいのか、とは人それぞれであってよいわけですが、竹中生は、校花、泰山木をその象徴としてイメージすることができません。泰山木は、6月前後に大きな真つ白な花弁が濃緑の肉厚の葉を背景に香り高く咲きます。私は日本の固有種だと思っています。たのですが、学名「マグノリア」で、世界中に植栽されているようです。旅行で訪れたカナダでもニューギニアでも、大輪の白い花に出会った時には、何とも言えない心強さを感じたものでした。

校歌と校花。いずれも時は違えど、同じように竹早中学校で3年間育まれた同窓生の心に人生の支えとしてしっかり根付いているものと思います。いつの日か、子ども達、同窓の皆様と泰山木を見上げて、校歌を共に歌う機会が訪れますことを願っております。

新任・退任の先生挨拶

●退任あいさつ

佐々木陽平



竹早中学校の教室で生徒たちと数学を学んだ時間、保健室でのんびり過ごした時間を今でも鮮明に覚えています。竹早中学校で教育に携われたことは僕の誇りです。教育活動を支えていただいた同窓会の皆様、保護者の皆様、一緒に学び合えた生徒のみなさん、本当にありがとうございます。

新天地の軽井沢風越学園では自分の当たり前を問い直し、一回りも二回りも成長できるような日々勉強し取り組んでいます。軽井沢の春は寒く、初出勤の4月1

日では雪が降り積もっているほどでした。環境も変わり、学校も変わり、まだまだ慣れない日々が続いています。この経験が自分にとってプラスになると信じて頑張っています。

いつか竹早中学校に顔を出したいので、そのときには温かく迎えてください！

清和 隼弥



昨年度は大変お世話になりました。魅力いっぱいの子ども達と過ごした1年間は一瞬のように過ぎ去ってしまいました。授業中、休み時間など、生徒と過ごした時間はかけがえのない宝物となっています。教員1年目で、右も左も分からなかった私を暖かく迎え入れてくださった先生方、そして生徒の皆さんに本当に感謝いたします。

今年度から、学芸大学の教職大学院で数学教育を探究し、研究に励んでおります。竹早中学校での経験を生かして、より一層洗練された教員になるために精進いたします。

ありがとうございます。

●新任あいさつ

福嶋 卓海

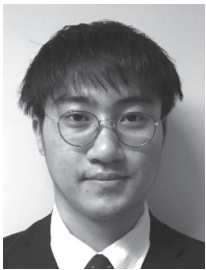


令和4年度より、竹早中学校に赴任いたしました。福嶋卓海と申します。担

当教科は数学で、今年度は1年〇組の担任を務め、部活動は、水泳部の主顧問を担当しております。

竹早中の生徒は、部活動・勉学においても自主的に行動しており、毎日感心する日々であります。私も生徒らに負けぬよう、研鑽を積んでいく所存であります。教職経験1年目でありましたため、先生方をはじめ、保護者の皆様、同窓会の皆様には何かとお力添えいただくことと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

齋藤 司



今年度より附属竹早中学校に着任した齋藤司と申します。2年生の学年担任

います。また、男子・女子バレーボール部の副顧問も務めております。

この竹早中学校で学年を問わず、授業や部活動などの様々な場面で生徒と関わる中で、日々少しずつ成長していく生徒の姿を間近で見られることにとても喜びを感じています。まだ分からないことも多くありますが、精一杯生徒と向き合い続けるので、どうかよろしく願いいたします。



母校PTA文化厚生部からのお願い

今年、文化研究発表会で制服リサイクルのコーナーを準備する予定です。引き続き、ご不用になられました制服がございましたら、クリーニングをしていただき、竹早中学校PTA文化厚生部制服リサイクル宛にお送りください。よろしくお願いいたします。

44期座談会@竹早中

5月末の土曜日午後、懐かしいメンバーが竹早中に集いました。森副校長先生、勝岡先生、岩瀬先生、そして当時44期生の学年主任だった柴田先生。柴田先生は我々を受け持っていた時は42歳の頃。アキレス腱断裂や父親を亡くすなどの試練を経験しながらも今の私たちの年齢の頃に学年主任として学年をまとめていらっしやいました。1年生から3年生まで担任を持っていただけでした。現在は竹早中を離れて、滋賀県で大学教員として、大学生を相手に後進の指導をされているということで、この座談会にはZOOMでの参加となりました。



森先生は、私たちが入学する少し前に竹早中に赴任されました。竹早中出身のOGであり、まだ20代だった先生はやはり1年から3年生まで担任であり、竹早中の教員生活をまさに私達の学年とともに走り出した時期でした。そして、そのまま走り続け今は副校長として、竹早中の実質的な運営を担っておられます。

勝岡先生は、私たちの学年は1年生の時に担任を受け持っていたらっしやいました。が、当時はサッカー部の顧問を引き受けられており、若くて熱血な先生のイメージが強くて、元々はバレーボール部がサッカー部で、当時一緒に入った植田先生がバレーボール部を引き受けたということで、サッカー部を引き受けたそうです。その後、植田先生が辞められた時に、サッカー部を後任の先生に引継ぎ、当時の生徒たちに請われてバレーボール部の顧問を引き受けたそうです。7年前に竹早中は定年となるも森先生に引き留められ今も、非常勤講師として竹中生の指導にあたっておられます。

岩瀬先生は昨年からは非常勤講師となりましたが、つい最近まで担任を持って、長い間竹早イズムを体現されてきた先生です。当時は若くて、学年集会ではよく叱られ迫力もありましたが、最近ではミッチーの愛称で、生徒からもカワイイキャラとして愛されている様子でした。でもくせのある好奇心をそそる授業は健在で、今なおテスト前は生徒たちを焦らせていることでしょう。さて、44期生が今年度の同窓会総会担当

年次となるにあたって、懐かしの先生方をお招きして座談会を行い、当時の思い出話や竹早中の教育など色々とお話を聞く機会をもつことができました。2時間に渡る座談会の全てを紹介するのは紙面上難しいので、ほんの一部を紹介できればと思います。先生方は年月を経ても細かく覚えていて、座談会を通して忘れていた記憶が呼び起される感覚になりました。竹中のいいところの一つは自分達が教わった先生たちがまだ学校にいらっしやることだと思います。これって先生たちが健康であることは大前提ですが、やはり竹早愛があるからのことだと思います。これを読んだ同窓会会員の皆さまが懐かしく感じられ、秋の同窓会総会に顔を出すきっかけになっていただければ幸いです。

「先生方の当時の思い出話」

柴田先生

「40歳で学年主任やったのは私が初めてでした。それまでは40代後半とか50代の人ばかりだった。思ったよりやんちゃな人がいるんだなって所に驚きました。自分の中学時代から比べると、とにかく賢そうな顔して、賢くてなおかつ悪いことをする。不思議な人たちだなと思いましたね。先生からは中学生とは思えない大人な会話ですかね。先生こういっているよとかが間違ってきますよとかね色々教えてくれるのがちょっと（他とは）違うなと思います。」



岩瀬先生

「僕は33歳、34歳でした。思ったよりやんちゃな人がいるんだなって所に驚きました。自分の中学時代から比べると、とにかく賢そうな顔して、賢くてなおかつ悪いことをする。不思議な人たちだなと思いましたね。先生からは中学生とは思えない大人な会話ですかね。先生こういっているよとかが間違ってきますよとかね色々教えてくれるのがちょっと（他とは）違うなと思います。」



「僕は33歳、34歳でした。思ったよりやんちゃな人がいるんだなって所に驚きました。自分の中学時代から比べると、とにかく賢そうな顔して、賢くてなおかつ悪いことをする。不思議な人たちだなと思いましたね。先生からは中学生とは思えない大人な会話ですかね。先生こういっているよとかが間違ってきますよとかね色々教えてくれるのがちょっと（他とは）違うなと思います。」

した。さっきも言ったように授業中の刺激もそうなんだけど。

この学年では勝岡先生より後に入ったので、最初はどんな先生なんだろうって少し眺められた意識がともあつて。あと二年生から三年生になるタイミングで学年終わりに花束をもらったんです。後にも先にも学年の終わりに花束をもらったのはあれが最後で、多分あれはさよならって意味だと思っただけです。(笑)

森先生

「一年の時間があまりに強烈すぎて。全員で校長室に謝りに行ったクラスは初めてだったんだけど。一緒にいたのは佐野君、三浦君、大森君か。一年C組はやる事が大きくてね。運動会のカップを壊して、しかもそれをアロンアルファでつけて、それを触って壊した植田先生のせいにして。落ちてした段階でごめんさいって言えばいいのにそれをアロンアルファでくっつけてしらばくされて、その上で尚且つ人のせいにしてしようとした。あれはもう極悪非道なね。私にとつてはあの時の一年C組は本当に印象に残っていて、他の全てが吹っ飛ばすくらい。

そう、入学式のあとの二日目にみんなわーって血相変えて、来て来て先生、怪我した怪我したって。まだ名前も覚えていないからよく分からないまま行ったら：私今でも覚えてる。花壇の木のところ立ち尽くして血まみれになって泣いている少年が一人。本当にビクビクして。どうやら窓から出入りして飛び損ねてレンガに頭を打ち付けたみたいで。その時は本当に驚いて救急車を呼んだと思う。二日目がそれで、それに懲りずに次の日、今度はあそこ(旧校



舎の前)に車が停めてあつたでしょ？この車の上に乗って遊んで、走り回っている人たちがいた。それも一年C組。色々な事がバタバタと起こってたく

さん心配したし：ほんとにでも、もう最高に楽しかったよ。あと二年生は二年生で、二年生の時いたのは桐谷さん、西山さん、松本君、菅谷君。そこはそこでね、非常に楽しかった。色々やらかしてくれて。文研の時に凄い頑張つて準備をして、物凄く大幅に時間が遅れたの。それで、私は凄い怒っていたの。いい加減にしなさい、早く帰るなさいって。で、その後でこんなに頑張つたんだって事を言いたかつたらしいって事が分かつて、反省したね。いや、私も若かつたからね、まだね。三年の時は、藤村さん、柿下君。次から次へと卒業行事に向けて忙しくて色々な事がやっぱり、なんか辛い事もあつたし悲しいこともあつたし倍くらい楽しいことがあつた。あのクラスもバイタリティに溢れていたよ。たしか藤村さんが総務委員をやっていたんだよ。だからなんせ明るくて、凄く良かったなって思い出だけは。だからね、人間30年も経つと残ってくるのは良い思い出。悪い思い出はすべて楽しい思い出に変わるから。みんな是非長生きをしてほしいなと思つています。」

勝岡先生

「一年B組はいい事ばかりでした。私も32かな。それまで公立でガンガンやって、若干荒れているような学校だったの。で、え、同じじゃないかと。荒れてるなあと。旧校舎の屋上を掃除してくれと言われて、屋上のさらに上。そこが上がっていったらいっぱい落ちてくるのね。それをかき集めてバケツ一杯半くらいあつたかな。何が落ちていたかは言いませんけど、公立の学校でもなかなかない。さつき柴田先生も言っていたことだけ公立でもそうしてたけど、うるさい連中がいるとぼつと一緒に寝ちゃう。そうすると静かになるから。みんなも寝るから。そういう所で経験してきたので。あと帰りは大塚のゲームセンター。後ろでずつと見ていていつ止めるんだろかなって。先生許してくださいってね。その時は君たち一年生だけではなくて二三年生もいた。私は、二年目は三年生に回されましたが、でも逆に私じゃなくて良かったかなって。入ったのが岩瀬先生でしたから。岩瀬先生はもう慣れてるのでそこはうまくみんなをリードしてくれるんだろ



など思つていました。私みたいに公立でやってた事をここで同じようにやった人間はやっぱりもしかししたら、え？って事もあつたかもしれないけど。一番嬉し

かったのはワークシートを公立でやっていて、それが通用するかなと思つて聞いたらそれで良いって言われて。当時一年生だけではなくて三年生ももっていた。その三年生がワークシートを手書きにしてくれて言ってくれて、良いの？ワークプロじゃなくて良いの？って聞いたら、いや、温かみがあるからって言ってくれたので、それからずっと竹早にいた間、退職するまではずっと手書きで作ってきました。毎年書き直してね。最近少し辛くなってきたのでワークプロで打つて形を整えてどうかなっていうのを両方やっています。去年なんかは手書きとワークプロでやるとどちらの成績が良いかによって今後を決めようと思つています。授業も色々な事をやらせてもらえた。ワークシート学習もそうだし点描写もそうだし。好きなことをやらせてもらえたかな。それは長くいる元になったと思う。もし、あれもダメこれもダメと言われてたら多分もう別のところに行っちゃいますってなっていたかもしれない。生徒にも自由だけ教師にも自由だったのが自分に合ったのかなと思つています。」

本当に座談会の一部の紹介です。限られた紙面では伝わりませんが、たくさんためになる話も聞けました。総会でも先生方に会えると思つますから、是非、リアルで会つて、思い出話に花を咲かせましょう。

(文責 菅谷)

【座談会参加メンバー】(旧姓表記)

柴田先生(ZOOM)、森先生、勝岡先生、岩瀬先生、菅谷・佐野・大森・柿下・萱垣・北村・桐谷・権田・坂・西山・藤村・松本・三浦

令和3年度 同窓会総会報告

令和3年10月30日（土）中学校体育館にて令和3年度同窓会総会が開催されました。

前年は緊急事態宣言中につき中止となったため2年ぶりの総会となり、42期・43期両学年が幹事となりました。総会は滞りなく議事が進行され、次年度に向けての計画案も承認されました。

残念ながら飲食を伴う懇親会は開催で



きませんでした。作家やTBSラジオ「ジェーン・スー生活は踊る」の人気パソナリテイとして活躍中で、本校卒業生でもあるジェーン・スー先輩の講演会を開催。ご著書にサインをいただき、後日、中学校の図書館に特別コーナーを設置する運びとなりました。

今回は、コロナ感染がなかなか収束せず、東京都においてはリバウンド防止措置期間の中での総会となりました。ギリギリまで、なんとか開催できるよう最大限のご配慮をいただいた藤本校長をはじめとする中学校の先生方、感染防止に万全の体制を整えていただいた理事やOBの皆様、改めて深く感謝申し上げます。（43期 高山泰三）

維持会費同窓会支援寄付金 ご協力のお願い

同窓会経費は、入会金、維持会費、同窓会支援寄付金その他の収入金をもってこれにあてる（同窓会会則22条）。2021年度の収入は約351万円、支出は約335万円でした（2021年度会計報告参照）。収入内訳は、入会金143万円、維持会費約108万円、同窓会活動支援寄付金約81万円、その他約19万円でした。

維持会費は、毎年2000円で、卒業後7年以降経過した社会人を対象としています。同封の払込取扱票をご利用ください。なお、払込人住所氏名欄の住所・

氏名・卒業年次の記入をお忘れなく（毎年払い込みください）。

なお、2022年1月17日以降、うちよ銀行の通常払込み（払込取扱票による払込み）を現金でお支払いの場合には料金（110円）が追加でかかるようになります。

うちよ銀行の通帳、カードでお支払いの場合は、追加料金110円はかかりません。

令和4年度 同窓会常務理事

会長	古谷顕史郎	13
副会長	松岡 隆司	14
顧問	村上 一路	13
	二瓶 好正	7
	田中 元次	2竹
	三嶋 明	13
監事	正野 敬子	19
	白江 千治	26
総務部	白石 英行	31
	神沼 厚史	40
事業部	田中 充	29
	野島 雅	41
	高畠 裕	36
広報部	田上 陸美	33
	関根 青磁	38
名簿部	安井 肇	19
	根本 律子	31
	関根あすか	36
会計部	永井真知子	19
	石黒由香里	26

同窓会部活動援助金について

同窓会部活動援助費につきましては、今年度は次のような備品等に使用させていただきます。

- ホルン（吹奏楽部）
- 3A黒川真那・千葉大会交通費等（水泳部）

今年度もコロナ禍のため、部活動は行えない期間が長くありました。活動が行えるようになる日々に向けての備品を整えたり、大会参加者への支援を行ったりすることができました。例年、御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今後とも引き続き、部活動に対する応援、ご支援の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

75周年記念事業について

本年令和4年にて母校は、創立75周年を迎えます。これまで、創立30、40、50、60周年において記念行事が開催されております。特に創立50周年記念事業においては、体育館の緞帳等の寄付を行い、旧校舎にて華麗なる音楽会を開催させていただきました。近年の世相を鑑みながら、本年度中に75周年を記念した母校への寄贈および式典の開催を検討しております。みなさまからのご支援・協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。（事業部 野島）

名簿部より

2023年版同窓会名簿発行

(冊子版) について

創立75周年を記念して、2023年3月発行に向けて準備を進めております。

2023年版同窓会名簿(冊子版)

意向調査のお願い

発行に際し、本フレッシュアップに同封されている返信葉書にて、各同窓生に意向調査を行いますので、ご協力頂けますようお願い致します。

調査項目は、2023年版同窓会名簿

(冊子版)に、住所・連絡先・職業・

最終学歴の4項目について、それぞれ記載有無の意向について記載して頂き、ご意向を反映して参ります。(メ切り日:11月15日)

なお、いずれの理由においても、卒業生氏名を削除することは致しませんので、ご理解の程よろしくお願致します。

現在の名簿更新状況について

■ 随時、2017年版名簿に記載誤りがある場合、2017年版名簿に友人の空欄(消息不明)をお知らせいただいた場合とフレッシュアップ返信葉書にご記載頂いた情報を年2回更新しています。また新たな卒業生会員の情報を年1回追記しています。

この情報をもとに2021年、卒業時に決めて頂きました各期の卒業年次委員と

クラス委員の皆様へ情報提供し、新たな更新がないか調査のご協力を頂きました。多大なご尽力を賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。

名簿デジタルデータ更新について

①「竹早中学校同窓会個人情報に関するガイドライン」及び「竹早中学校同窓会個人情報保護基本方針」を遵守し、管理致します。

②同窓会誌「フレッシュアップ」発行時の同窓会総会返信葉書にて、毎年調査を行い、変更事項について更新致します。

③随時、郵送、メール及びHPよりデータ提供をいただいた場合、更新致します。

・自分の住所等の変更があった時
・2017年版名簿に記載誤りがある時
・2017年版名簿に友人の空欄(消息不明)をお知らせいただける時
※なお、ご本人が公表拒否を希望されている情報は、同窓会のみ管理となっています。

連絡先: TEL 112-0002
東京都小石川4-2-1

東京学芸大学附属竹早中学校
同窓会総務部 白石 英行 宛

E-MAIL bunkyo@mail.ne.jp

④デジタルデータ更新は年2回(3月・9月)行います。

同期会開催への提供について

各年次委員に限定し提供致しますので、右記の総務部 白石 英行までお問い合わせ下さい。

2021年度 会計報告

(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	9,868,466	III 本年度支出	3,348,827
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,410,891
普通預金	1,426,672	総会・懇親会開催準備費	259,732
郵便貯金	5,287,619	常務理事会費	60,722
小口現金	154,175	総務費	-
II 本年度収入	3,512,092	文書事務費	46,046
【内 訳】		郵便連絡費	196,365
新入会員会費	1,430,000	慶弔費	58,162
同窓会活動支援寄付金	814,000	卒業記念品代	101,475
維持会費	1,080,000	クラブ活動援助金	600,000
預金利息	92	名簿作成上の経費	420,552
名簿売上	6,000	名簿入力・追録費	78,496
70周年記念誌売上	182,000	ホームページ作成・維持費	116,386
合計	13,380,558	差引残高	10,031,731
		IV 次年度繰越	10,031,731
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	2,001,862
		郵便貯金	4,996,876
		小口現金	32,993
		合計	13,380,558

注:(1)送料を含む

2022年度 予算案

(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
I 前年度繰越	10,031,731	III 本年度支出	6,670,000
【内 訳】		【内 訳】	
定期預金	3,000,000	同窓会会報発行費(1)	1,500,000
普通預金	2,001,862	総会・懇親会費	500,000
郵便貯金	4,996,876	常務理事会費	60,000
小口現金	32,993	総務費	120,000
II 本年度収入	2,820,200	文書事務費	70,000
【内 訳】		郵便連絡費	200,000
新入会員会費	1,500,000	慶弔費	90,000
同窓会活動支援寄付金	500,000	卒業記念品代	140,000
維持会費	800,000	クラブ活動援助金	600,000
預金利息	200	技能強化支援金	100,000
70周年記念誌売上	20,000	名簿入力・追録費	170,000
		ホームページ作成・維持費	120,000
		名簿作成費	3,000,000
		差引残高	6,181,931
		IV 次年度繰越	6,181,931
		【内 訳】	
		定期預金	3,000,000
		普通預金	1,000,000
		郵便貯金	2,000,000
		小口現金	181,931
		合計	12,851,931

注:(1)送料を含む

創竹会からの活動報告

監事 神沼 厚史

クスを採用。生徒達からは、『前は走ると「ドンドン」キュッキュ」とうるさかったが、静かになった』『柔らかくて足に優しい』『転んでも痛くない、新しくなって線も見やすくてうれしい！』など多数の感謝の声を聞くことが出来ました。

教育後援会は平成12年に当時の文部省からの要請を受け、教育活動に必要な資金を任意の拠出金にて賄うために、多くの国立大学附属学校園で設立されました。竹早中学校の教育後援会として設立されたのが「創竹会」となります。平成16年に国立大学が独立法人化されて以降、国からの「運営交付金」は年々減額され、大学から附属学校へ給付される予算「附属学校教育研究費」も減少の一途をたどっております。またその様な現状化、竹早中学校も生徒等に十分な教育が出来るよう対応する為、教育後援会「創竹会」通じた支援が重要となっております。

今回は監事の立場から皆さんに教育後援会「創竹会」についてお話をさせていただきます。右記の様に大学から附属学校へ給付される予算が毎年減少される中、竹早中学校に通う生徒等に十分な教育が出来るよう過去に下記の様な支援をさせていただきました。

2021年夏季 体育館の床の改修。竹早中学校の体育館は2011年の東日本大震災で被災し、これまでに天井の補修・照明のLED化・スピーカーの購入など順次改修を行ってきました。2021年度は創立75周年記念事業の一環として、8月夏休み期間中に床材の張替え工事を行い完成しました。オリンピック会場や世界中のスポーツ施設で採用されているアスリート目線で開発された素材タラフレッ

育館の音響の改修工事などの計画を立てています。同窓会の皆様には以上の様な実情をご理解いただくと共に、創立75周年記念事業に向けた「特別寄付」へのご高配を賜り、更なるご支援をお願い申し上げます。

「特別寄付」制度概要

1 目的

東京学芸大学附属竹早中学校の教育振興・充実等のため

2 募集対象

全校生徒保護者、同窓生、賛助会員、一般個人・法人

3 受付期間

通年の募集
*大学からの「寄付領収書」発行手続きに時間を要するため、2022年（1月～12月）確定申告に必要な「寄付領収書」の発行を希望される場合は、9月30日までに振込をお願いします。

4 受付金額

1口10,000円（一口以上、何口でも結構です）

5 支払方法

ゆうちょ銀行振込
*同封のゆうちょ振込取扱票（通信欄に「竹早中学校教育後援会（特別寄付用）」と表記）をご使用下さい。振込手数料は誠に勝手ながら各自ご負担下さい。

*大学からの領収書が届くまで、振込受領書を大切に保管下さい。

編集後記

最近仕事仲間から、昔の担任の先生の名前が偶然にできて驚き、さっそくfacebookで先生のお名前を検索してみました。

なんと、すでに先生はやめられて、別のお仕事をされているようで、さっそくメッセージを送ってみました。

数日たってお返事がきて、昔のお話して盛り上がったのですが昔だったら、こども簡単に人探しはできませんでした。

SNS時代の弊害も叫ばれてはいますが、SNS時代だからこそ、遠かった先生との距離が簡単に近くなれる、そういう良い点に注目したいと思います。（文責 田上睦深）

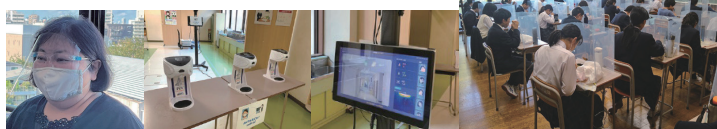
体育館の床の改修



冷風機 2機設置



コロナ感染予防対策支援



同窓会ホームページをご活用ください。

<http://www.takehaya-hs-dousoukaikai.net/>